

政策連合(オールジャパン平和と共生)の基本理念

「平和主義を堅持し共生社会創出を目指す」

政策連合(オールジャパン平和と共生)は

「戦争と弱肉強食」の政治を「平和と共生」の政治に大転換すること
を目指す主権者による連帯運動です

2010年に鳩山内閣が破壊されて13年の時間が経過します
「戦争と弱肉強食」の政治が実行されています
「戦争と弱肉強食」の政治を廃し、「平和と共生」の政治を実現する
これが私たちの目標です

主権者が主導し、党派の壁を超え、政策を基軸に連帯を構築する

この活動を通じて
新しい政権を樹立し、日本政治を刷新することを目指します

「誰もが笑顔で生きてゆける社会の実現」

= 「ガーベラ革命」 成就を目指す

ガーベラ = 多様性の象徴 花言葉は“希望”“前進”“限りなき挑戦”
現実の政治を変えるには、国会の議席構成の転換が必要不可欠
そのためのアクションを起こします

基軸とする基本政策として、

1. 日本を「戦争をする国」にせず「戦争をしない」平和主義を堅持
2. 原発を廃止
3. 経済政策を「弱肉強食」追求から「共生」追求に転換
4. 安心・安全の食料の安定国内確保を実現
5. 命の尊さを心に刻み医薬品による悲惨な被害を発生させない

を掲げます